

幼稚園だより

—5月号—

令和6年4月30日
墨田区立八広幼稚園
園長 金澤 里美



子供たちの成長を見つめて

園長 金澤 里美

進級から約3週間がたちました。新しい環境での生活が始まり、子供たちは毎日わくわくした顔で登園していましたね。進級当初は、2階の保育室やホールでの遊びを楽しみにし、「今日は大きい積木で家をつくるんだ。」「一緒に巧技台のジャンプ台をつくろう。」と、友達と声を掛け合って遊び出す姿が多く見られました。ぞう組になってから使えるようになったキングブロックなども大人気で、毎日工夫して使い、友達同士、「こんなふうに使おうといいよ」などと伝え合いながら、繰り返し試し、楽しむ姿が見られます。

園庭に出ると、年長さんらしく、カメのお世話や園庭準備（倉庫からマットを出したり、一輪車のカバーを外したりする）仕事も張り切って行っているぞう組さんです。また、たくさんの虫たち、草花との出会いがあり、ちょっとした変化にもよく気づき、私たちに教えてくれる子供たちです。

さて、先日の4月の上映会では、室内、戸外の遊び、生活の様子をご覧いただきました。子供たちが思わずつぶやく言葉や、言葉は発しなくてもじっと何かを見つめて夢中になっている様子がほほえましく、どの場面を紹介しようか、いつも悩みます。保護者の方も、画面を通してですが、一人一人が何に心を動かし、何を楽しんでいるのかなどを感じたり、子供たちの成長を実感したりされていることと思います。今年度も、上映会を引き続き行っていきますが、親子で行う活動なども工夫していきたいと考えています。早速5月には、サツマイモの苗植えを親子で行います。秋に、おいしいやきいもにして食べるのが今から楽しみです。以前、保護者の方から、「その時は気付かなかったけれど、我が子が幼稚園の時期はとても素敵で幸せな時間でした。」と言われたことがあります。幼稚園だからこそできる触れ合いや体験を大切に、あっという間に過ぎてしまうこの素敵な時期が、より豊かになるように、充実するようになっていきたいと思えます。

5月初めは開園記念日のお休みや連休もあります。外出の機会も多くなるかと思えます。休み明けは、疲れや甘えが出てしまうお子さんもいるかもしれませんが、そんな姿もすべて受け止めながら、引き続き、教職員全員で子供たちの育ちを支えていきたいと思えます。今後も、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【5月のねらい】

ぞう組

- ・学級全体やグループで活動する中で、一緒に行う楽しさや、学級としてのつながりを感じる。
- ・戸外で思い切り体を動かして遊ぶことを楽しむ。